

SMILEco計測株式会社を設立

東北大学未来科学技術共同研究センターの栗原和枝教授、水上雅史准教授らは、東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(BIP)、ならびにNEDO Entrepreneur Program (NEP) の支援を受け、「SMILEco計測株式会社(代表取締役：伊丹康雄)」を2022年1月14日に設立しました。このニュースは同日付の日刊工業新聞でも報じられました。

同社は、栗原教授らが文部科学省地域イノベーションエコシステム形成プログラム「SMILEcoみやぎ」において開発した「世界最少量の試料量(従来の粘度計

の1/10000~1/1000程度にあたる2 μ L)で液体の粘度を測定できる“超微量粘度計”の製造・販売、計測サービス、機器開発、コンサルティングをおもな事業としています。稀少・高価な液体試料(例えば、電池の電解液や血液・唾液など)の粘度の評価にソリューションを提供し、先端技術における材料開発、医療の発展、医薬品開発などに貢献すべく事業を展開します。

 **SMILEco計測株式会社**

SMILEco計測株式会社のロゴ

SMILEco計測がILS2022に出展

2022年2月16日~18日に虎ノ門ヒルズ(東京都港区)で開催されたイノベーションリーダーズサミット(ILS)2022のスタートアップブースに、SMILEco計測株式会社が出展しました(18日)。ILSは、専用マッチングサイトを通じて事前にアレンジされた大手企業とスタートアップとの新事業提携商談会です。第9回目となる今年は、ブース展示や商談会がリアルで行われ、スタートアップ・大手企業の双方からのピッチや基調講演、セミナーはオンラインで行われました。

SMILEco計測株式会社は、協業の可能性を探る半導体デバイス企業や、ユーザーとして超微量粘度計に興味をもつ材料メーカーなど5社と商談をしました。栗原教授は、「こちらからは用途開発のための共同研究のオファーをしたのですが、そうではなく、装置として売るという観点からの働きかけがあり、粘度計の性能表示の見

直しや、来年度には販売装置に実装予定のずり速度依存性計測への高い関心など、貴重な意見をいただきました。装置の販売はたいへんだと思いますが、測定サービスから始めて事業を軌道に乗せていきたいと思っています」と手応えを語りました。



ブースにて(右から2人目が栗原教授、3人目が水上准教授)